

～ 技術開発力強化のための環境づくり～

技術開発力強化のための 企画担当者実務セミナー

～ 価値業務を見極め、視点を未来に向けた環境づくり～

開催日時 **2023年 9月 7日(木)** 10:00～17:00 会場 **日本能率協会 研修室 (東京都港区芝公園)**

対象 **研究・技術部門の実務技術者** ・ **研究・技術部門の企画担当者、管理担当者**
研究・開発設計者が「価値業務」に集中できる環境作りを模索している方

講師	参加料(税込)		
	一般社団法人 日本能率協会法人会員	早期申込割引 (8/6迄)	通常参加料 (8/7～)
野元 伸一郎氏 (株)kiip & nap エグゼクティブ・コンサルタント	上記会員外	58,300円/1名	59,950円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください)
 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
 ※お申込みページ内参加申込規定を確認/同意のうえお申込みください。

ねらい

研究や技術部門の企画・管理担当者に求められる役割は、大きく分けて

- ① 先行開発を牽引するための未来思考観点からの革新
- ② 現状業務の価値向上、効率化させるための提案と推進支援の2つがあります。

昨今の開発期間短縮や顧客ニーズの多様化に伴い、企画担当者には**戦略的スタッフとしての機能**がますます求められるようになってきました。ところが、実際は以下のような課題をお伺いすることが多くあります。

- 企画・管理担当者の役割が曖昧で何をしているのが見えない
- 調整業務がメインになってしまっている

そこで、改めて企画担当者が果たすべき役割を整理するとともに、顧客である**研究・開発・技術者の生産性向上とアウトプット価値向上**を実現するための考え方・プロセスを学んでいただきます。

BtoB企業においては、特に技術部門の企画力が生命線とも言える時代です。
 本セミナーは、自社戦略と連動した計画立案や人材育成についても参加者のみなさまとともに考えていきたいと思います。

参加者の声

- まさに実践という講義で、自社で実施できるヒントが多く得られた。他社メンバーとの演習は、新たな考え方や視点が得られる貴重な経験をさせていただいた。
- ロードマップから教育を企画すること。他社事例が多くあったことなど、大変勉強になった。業務の視点や方向性が大きく変わるきっかけとなる講義でした。
- 果たすべき役割と現状とのギャップがより明確になった。他社事例ではハットとする考え方や取組みがあり、とても勉強になった。
- あまり自信がなかった技術企画のタスクや立ち位置が明確になり、それが一番良かったです。
- あらゆる分野にまたがる重要なポストであると認識しました。企画が機能するようにしていきます。
- ロードマップに関してこれまで漠然とした認識でしたが、位置づけと利点・役割をより理解できた。わかりやすく、面白い講義だった。

■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

- 1 技術企画・管理部門の役割と課題**
 - 最近の研究・開発・設計部門における現状と問題点
 - 技術企画/技術管理部門に要求される機能
 - 価値革新へフォーカスするためのイノベーション/オペレーション業務を分ける
- 2 戦略的技術企画・管理の推進**
～他社事例からあるべき姿を考察する～
 - 日本企業は価値をどこに見出すか
 - 戦略的技術企画・管理で目指したいこと
 - 先進開発プラットフォームとは
 - コストを上流で作り込むための戦略
 - 価値業務創出に向けた現場支援
 - 特許スタッフの革新
 - 知財を起点とした技術ロードマップ
 - 開発テーマの評価
 - 技術データ管理
- 3 技術ロードマップをベースにした戦略的技術企画・管理**
 - 技術ロードマップを活用した開発力強化に向けて

- 市場・顧客・ライバルの視点を入れた技術ロードマップの活用
 - 技術ロードマップの種類と特徴～目的に合わせた軸の設定と組み合わせが必要
 - 技術ロードマップ活用事例
 - 中期計画精度向上
 - 研究所・基盤技術
 - 生産技術、製造部門
 - 業界 など
- ケーススタディ**
- 4 技術企画・管理スタッフの育成と戦力化**
 - 戦略的技術企画・管理スタッフに求められるスキル
- 事例紹介**
- デジタルエンジニアリング教育
 - 人材開発・教育ロードマップの必要性
- 5 自社の技術企画・管理業務強化に向けた改善計画立案**
- 演習**
- 6 まとめ**

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

申込・セミナー詳細は



技術を核にした事業成長を実現する

技術ロードマップ 構築・活用セミナー

開催日時 **2023年 7月 7日(金)** **2024年 2月22日(木)** **オンライン** 各回とも 10:00～17:00

対象 **開発、設計、技術、品質保証部門のマネジャー、スタッフの方**

講師	参加料(税込)		
	早期申込割引	通常参加料	通常参加料
山中 淳一氏 (株)日本能率協会コンサルティング チーフ・コンサルタント	7/ 7開催：～ 6/ 6迄 2/22開催：～ 1/21迄	7/ 7開催：6/ 7～ 2/22開催：1/22～	7/ 7開催：6/ 7～ 2/22開催：1/22～
	法人会員：55,000円/1名 会員外：66,000円/1名	法人会員：56,650円/1名 会員外：67,650円/1名	法人会員：56,650円/1名 会員外：67,650円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください)
 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
 ※お申込みページ内参加申込規定を確認/同意のうえお申込みください。

ねらい

◆ “使える” 技術ロードマップの構築・活用方法を学ぶ

技術ロードマップは、様々なねらいを持って構築されています。

- 中期計画実現率向上 ・ 標準モジュール適用率向上
- 先行開発遅れ件数低減 ・ 試作回数削減 等

しかし、現状は先行開発が組織的に推進できない、遅延する、技術ロードマップを作成したが、日常業務と乖離しているといった実態が見受けられます。

そこで本セミナーでは、あらためて技術ロードマップの検討プロセス毎のポイントを取り上げます。

各プロセスの具体的な考え方、手法を学ぶことにより、各社各様の目的に応じた技術ロードマップの構築・活用の実現を目指します。

他社事例を含めた実践的な講義と、実務で活用できるための演習を組んでいますので、具体的なスキルとヒントをお持ち帰りできます。

参加者の声

- 目標に到達するために、有効なツールだと改めて感じた。事例も多くわかりやすかった。
- これまでは帳尻合わせでなんとなく作ってしまっていたところもありました。ゴール設定と計画づくり、明文化などヒントをたくさんいただきました。
- アウトプットの導き方が参考になりました。
- 各部門が作成しているロードマップや計画との連動性がまったくなかったことに気付けた。

■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

- 1 技術ロードマップが求められる背景**
 - (1) 技術開発部門の状況
 - (2) 技術ロードマップとは何か
 - (3) よく見られる活用失敗事例から学ぶ
- 2 技術ロードマップ構築・活用上の課題**
 - 作成者からみた課題
 - 活用する立場からみた課題
 - 経営者からみた課題
- 3 技術ロードマップの構築・活用方法**
 - (1) 構築目的の明確化&縦軸の工夫
 - (2) 将来動向に関する徹底議論と洞察&情報収集の工夫
 - (3) 実現ストーリーの協創&リソースの工夫
 - (4) 末端までの共有化&メンテナンスの工夫
- 4 技術ロードマップ活用事例**
- 5 まとめ**
 - 実習** • 技術ロードマップ構築 (ケース演習をおこないます。参加者の自社技術を開示することはございません)

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

申込・セミナー詳細は

